

令和6年度「SDGsの実現に向けた教育推進事業」取組内容

蓮田市立蓮田南中学校

1 育成する能力

【6つの資質・能力】

課題発見力…探究課題を自ら設定することができる。

主体性…課題解決のために自ら進んで行動しようとしている。

協働性…課題解決のために友達と力を合わせようとしている。

論理力…情報を分類、整理し、筋道を立てることができる。

創造力…新しい価値や組み合わせ、発想を見出すことができる。

社会関係形成力…より良い社会づくりのために、地域や企業の人たちと協力することができる。

2 研究概要

(1) 取り組むSDGsの目標



(2) 研究主題

持続可能な社会の創り手として必要な資質・能力の育成

未来創造型PBL★2ndステージ

～気づく・探究する・参画する～

(3) 研究仮説

持続可能な社会の創り手として必要な資質・能力を明確化して、地域や企業等と連携して「SDGsの実現に向けて社会とつながる教科横断的な探究・プロジェクト学習（PBL）」を小中学校9年間を見通して工夫して実施すれば、課題を自分事としてとらえ、その解決に向けて自ら行動を起こす力を育成することができるだろう。以下はその手立てである。

- ① 企業との連携…専門的な話を聞くことで、課題を見つけ自分事として捉え、その解決方法を考え出すことができる。
- ② 学年テーマ別学習…1年環境、2年福祉、3年国際理解に関係する企業等の担当者から、持続可能な社会づくりの取組の紹介を受ける。
- ③ 課題解決学習…テーマに沿った課題を見つけ、その解決方法を自分事として考え、その実践を日常生活で試みたり、企業等に提言したり、持続可能な社会の創り手としての参画意識を育む。
- ④ 教科横断的学習…カリキュラムの見直しを行った。その際SDGsの視点、6つの資質・能力の育成、探究プロセスを重視した。

3 企業・団体との連携

(1) 連携・協働した主な企業・団体等

- ① 株式会社セブンイレブン・ジャパン
- ② スターバックス・コーヒー・ジャパン株式会社
- ③ NEXCO 東日本（東日本高速道路株式会社）
- ④ 埼玉県立岩槻はるかぜ特別支援学校
- ⑤ 蓮田市社会福祉協議会
- ⑥ 埼玉県庁企画財政部計画調整課

(2) 連携・協働した主な内容

【1年生】

(セブンイレブン・ジャパン、スターバックス・コーヒー・ジャパン、NEXCO 東日本)

- ・企業のSDGsの取組の講演を通して、企業がどのような工夫をしてSDGsの達成を図っているかを学ぶ機会を設けた。(各企業より担当者を招き学習を行った。)
- ・企業の取組を地域に知らせ、地域全体でSDGsへの意識を高めるため、ポスターを制作した。
- ・制作したポスターを店舗等に掲示してもらうためにプレゼンテーションを行った。
- ・企業に掲示するポスターを1つ選んでもらった。
- ・店舗等に掲示し、企業のSDGsの意識の地域への共有を図った。



※セブンイレブン蓮田馬込SS店、スターバックス東北道蓮田SA上り線店、NEXCO 東日本東北自動車道上りPasar 蓮田内トイレ共有スペースにそれぞれ年末年始に掲示していただいた。

【2年生】

(蓮田市社会福祉協議会、埼玉県立岩槻はるかぜ特別支援学校)

- ・社会福祉協議会の方からの講演を通じて地域福祉の学習を行い、普段の暮らしの幸せのために社会福祉協議会が取り組んでいることを学んだ。
- ・埼玉県立岩槻はるかぜ特別支援学校より、特別支援コーディネーターの先生を招き、特別支援学校の学習内容等を学んだ。また後日中学部の生徒とモルック(実際はペットボトルで代用したため「ペルック」という名称にした。)でチーム戦を行い交流を行い楽しんだ。
- ・福祉について学んだことを踏まえ、「誰もが暮らしやすい我が街」という共通テーマで、より良い生活を行う街づくりについて発表を行い提言した。



【3年生】

(埼玉県庁企画財政部計画調整課)

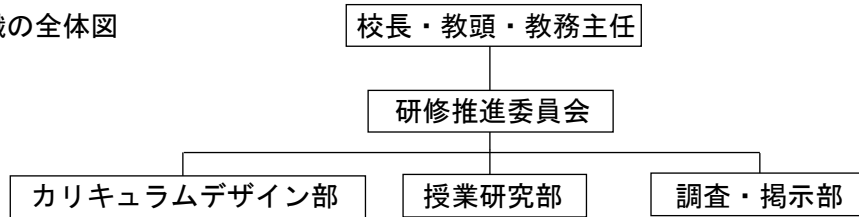
- ・修学旅行で京都・奈良の観光地を訪問し、多くの外国人が日本で過ごしやすくなるためにはどうしたら良いか個人研究を行った。また個人研究を通して分かったことを踏まえ、グループで「もっと魅力的な国になるための提言」をテーマに研究及び発表準備を行った。
- ・グループ別学級発表を経て、全体発表会を実施し、県庁職員の方等へ研究成果を発表した。



4 研究内容

(1) 研究組織

①組織の全体図



②分科会と主な分担内容

- ・カリキュラムデザイン部
教育目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていく。
- ・授業研究部 各単元計画を発想、構想、計画、実践する。
- ・調査・揭示部
実態調査フォームの作成や調査の実施、結果の分析などを行う。揭示啓発教育の実践を行う。

(2) 研究の流れと取組

①令和5年度

月 日	事業内容	場 所	対 象
5月9日	田植え	本校前水田	1年生
6月20日	SDGs職員研修会（黒浜南小との合同実施）	黒浜南小学校	教員
8月21日	SDGs職員研修会（黒浜南小との合同実施）	本校	教員
9月12日	稲刈り体験	本校	1年生
10月4日	福祉講演会（蓮田市社会福祉協議会）	本校	2年生
10月6日	SDGs基礎講演会（県計画調整課）	本校	全学年
11月13日	ピジョン体験学習	本校	3年生
12月6日	社会福祉体験（蓮田市社会福祉協議会）	本校	2年生
12月7日	エコプロダクツ展	東京ビックサイト	1年生
12月14日	SDGs発表会	本校	3年生
2月5日	SDGs発表会	本校	2年生
2月20日	スターバックス講演会	本校	1年生
2月27日	SDGs発表会	本校	1年生

②令和6年度（※2学期まで）

月 日	事業内容	場 所	対 象
5月1日	全校学習会（セブンイレブン・ジャパン）	本校	全学年
5月8日	田植え体験	本校前水田	1年生
5月28日	農業講演会	本校	1年生
6月27日	岩槻はるかぜ特別支援学校コーディネーター講演会	本校	2年生
7月3日	地域福祉学習会（蓮田市社会福祉協議会）	本校	2年生
7月4日	SDGs学習会（スターバックス・コーヒー）	本校	1年生
7月17日	SDGs学習会（NEXCO東日本）	本校	1年生
8月22日	SDGs職員研修会 （黒浜南小、黒浜小、黒浜中と4校合同）	県立蓮田松韻高校	教員
9月10日	稲刈り体験	本校前水田	1年生
10月16日	SDGsポスター制作（テレ玉取材）	本校	1年生
11月9日	PTAバザーでのスターバックス試飲会・リサイクル遊びの実践	本校	全学年、保護者

11月15日	SDGsポスター発表会（セブンイレブン、スターバックス、NEXCO東日本）	本校	1年生
11月18日	岩槻はるかぜ特別支援学校交流会	本校	2年生
11月25日	SDGs国際理解学級発表会	本校	3年生
11月28日	SDGs国際理解発表会（埼玉県庁企画財政部計画調整課、蓮田市教育委員会）	本校	3年生
12月5日	エコプロダクツ展参加	東京ビッグサイト	1年生
12月18日	SDGs福祉発表会（蓮田市社会福祉協議会、岩槻はるかぜ特別支援学校、埼玉県庁企画財政部計画調整課、蓮田市教育委員会）	本校	2年生

5 成果と課題

○生徒の変容（6つの資質・能力の視点から）

- ・生活や学習の中から見出された「なぜ」「どうして」「もっと知りたい」等の思いを持って、課題を見つけることができるようになった。（課題発見力）
- ・自分で目標や課題を設定し、改題解決策を目標から逆算して考えたり、実行のためのアイデアを持つことができた。（主体性）
- ・ペアやグループ学習で、意見を調整しながら話し合いに参加し、発表ができた。（協働性）
- ・調べた根拠をもとに、課題解決のための方策を考え、聞き手によく伝えるように工夫することができた。（論理力）
- ・今まで学んだことを整理し、課題について友達と話し合っって生活に生かせる新しいアイデアや解決策を見出すことができた。（創造力）
- ・地域や企業の人と協力して、課題の解決策を構想することができた。（社会的関係形成力）

（参考）全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙結果について

（「あてはまる」、「どちらかといえばはまる」の合計割合）※括弧内は全国の合計平均割合

【4】-25 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う

令和5年度59.0%(63.9%)→令和6年度80.2%(76.1%)

【6】-30 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた

令和5年度74.4%(79.2%)→令和6年度90.1%(80.3%)

○学校全体の変容

- ・授業や集会などで生徒が堂々と自分の考えを分かりやすく言えるようになったり、話し合い活動にさらに意欲的に取り組むことができるようになった。
- ・相手意識をもって行動することができるようになり、学級等での自分の役割を自覚した行動をとれることが多くなった。

○連携した企業・団体の声

- ・生徒のプレゼン内容だけでなく、クイズ等を用いて、聞き手をひきつける発表をすることができ、自分の考えや提言を分かりやすく伝える生徒の姿に頼もしさを感じた。
- ・どんなことに困っているのか調べられており、何が課題であるかを明確化できていた。また対応策についてその根拠や具体的なアイデアを訴えている点は好感がもてた。

○令和7年度に向けての課題

- ・どのような生徒像を目指すか、全職員の共通理解を図る場の設定を通して、研究に対して教員間の連携強化や役割を明確にする。
- ・各学年テーマにあった企業とのマッチングや講演会、学習会の開催
- ・総合的な学習の時間を中心に、他の学校行事や教科の授業と往還し、学んだことを深化し、生徒の思考や日常生活にいかされるよう指導すること。